

行政視察報告書

委員会名	建設産業委員会
派遣委員	委員長 川辺 隆 副委員長 安東 鉄男 委員 河野 巧 委員 匹田久美子 委員 武生 博明 委員 牧 宣雄
日 程	令和6年10月23日（水）13：00～14：30
視 察 先	山口県光市
調査項目	農業振興拠点施設「里の厨」の運営について

1. 調査目的

光市は、平成23年7月に地場産農林水産物の加工及び販売による地産地消を促進するとともに、食農教育の推進及び観光の振興を図り、活力に満ちた魅力あふれる地域社会の実現に資することを目的として「里の厨」をオープンしました。農業従事者の高齢化や担い手不足の減少、耕作放棄地の増加など地域農業が抱える様々な課題や問題点に取り組み、光市の地域農業を振興しています。同様の課題を抱える臼杵市において、農業振興にいかせるよう調査・研究を行いました。

2. 調査内容

（1）視察先の概要

光市は、人口は49,798人（令和6年3月13日時点）、総面積は約91.94平方キロメートルで、臼杵市の約三分の一の面積に対し、人口は1万6,000人ほど多い自治体です。戦後、武田薬品工業（株）光工場・八幡製鐵（株）（現・新日鐵住金（株））光製鐵所の二大企業を中心とした近代的工業都市として発展してきました。

しかし、平成17年ごろから農業従事者の高齢化や担い手の不足、耕作放棄地の増加が課題となり、平成17年に光市地産地消プランを策定、平成19年7月に光市特産品直売パイロットショップとして実証事業を4年間行いました。平成23年の中国野菜の残留農業問題や産地偽装問題による食の安心・安全に対する意識の高まりも背景となり、解決にむけた方策を探るなかで、地場産農林水産物の加工及び販売による地産地消を促進するとともに、地域農業の進行を通じた地域環境の向上、新たな地域産業の創出や地域食材を見つめ直すことによる食農教育の推進、観光振興の強化など広く公益につなげるための拠点施設で、光市の一次産業に活力を与えると同時に、活力に満ちた魅力あふれる地域社会の実現に資するため、光市農業振興拠点施設「里の厨」がオープンしました。

（2）調査結果

当施設の建設事業費は約3億円であり、「里の厨」の愛称は市民公募により決定し、採れたての野菜やお米があふれる、「ふる里のおばあちゃんちの台所」をイメージしていました。事業内容は、野菜・米・肉・魚などの委託販売や学校給食への食材納入、生産出荷者等農業者を対象にした栽培講習会の開催、加工事業として惣菜や餅、パン、米粉、そば

粉などを地域団体に加工委託していました。学校給食への食材納入では、給食に使う一定量を確保するため、生産者にあらかじめ出荷予定の品目と時期を聞いた上で給食メニューに反映させるとの事でした。

施設の来客数は、平成25年度の24万6,368人から令和5年度は17万7,300人と約3割の減少となっていますが、販売額は25億円台をキープしており、年間委託料138万円で運営していました。

また、農産物の販売手数料は15%、施設内で加工された商品の販売手数料は20%としており、現在271人の組合員がいるということで、小規模農家でも気軽に農産物を出品できる事は地域で農業が持続し、小さな畑が守られる仕組みとして役立っています。

そして、施設内に加工所があるため、新鮮な農産物がそのまま商品化され即売りに並ぶおかげで、鮮度の良い原材料を使った信頼がおける加工品が手に入ります。地元飲食店が経営するテナントも入っており、気軽に旬の食材を使った食事が買い物ついでに味わえます。また、農産物出荷者を確保するため、農産物販売農家育成研修を開催し、受講者に対して、講義と農地での実習を1年間実施し、基礎的な野菜の栽培方法や農業に関する知識、里の厨などの直売所への出荷方法や出荷品の規格などの知識の習得を支援していました。例えば、トラクターの乗り方から、農産物の袋詰めまで、きめ細かい指導がなされていました。

さらに、農地の荒廃防止の取り組みとして、遊休農地判定を受けた農地の貸借に係る経費を支援し、遊休農地の利用や農地の連坦化を促進し、荒廃農地の発生を未然に防止することを目的とした遊休農地活性化事業も実施していました。

3. 委員会の所感

農林拠点施設「里の厨」のような複合施設を臼杵市にも設置し、そこに行けば色々な体験や食についての勉強も交流も出来る施設として検討をはじめることが必要だと感じました。本市は、「有機の里」として売り出していますが、市内には観光交流プラザをはじめ、サーラ・デ・うすき、旧野津高校跡地、パークゴルフ場と様々な施設が点在しているので、施設の再活用も含め、他市にない「ほんまもん野菜」や郷土料理、食育、農林水産従事者の育成など、今以上に支援が必要となるのではないかと感じました。

4. 視察状況

